

にぎわい創出広場の建設に3億5,000万円の金を使うことに対して、計画でアウト、高額建設費でアウト、リスクを市民に回す運営でアウト、スリーアウトチェンジです。終わります。

○議長（五十嵐健一郎君）

以上で、田原議員の質問が終わりました。

次に、田中立一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。〔15番 田中立一君登壇〕

○15番（田中立一君）

市民ネット21、田中です。発言通告に基づき、一般質問を行います。

1、外波地区住宅地背後の山林管理について。

糸魚川市は、面積の76%を森林が占めていることから、住宅のすぐ近くに山林が迫っているところが数多く見られる。糸魚川ジオパーク24サイトの1つでもある親不知のインターチェンジ、ピアパークに隣接している外波地区は、連担している住宅の背後に急斜面の山が迫っていて、樹木が大きく育つと枝を伸ばし、住宅の上にまで接近してくる。大きな風や雨のたびに、住民は災害を心配していたが、先日ようやくのり面ののり砕工付近に伸びた木の伐採が行われ、住民からは安堵の声が聞かれるが、今後も安全対策、環境美化の観点からも計画的な対策が求められるのではないかと思います。いかがでしょうか。

また、同様な課題を持つ他の地域についての把握はどうか。

2、訪日外国人観光客誘致の取り組みについて。

2018年の訪日外国人客数は、初めて3,000万人を突破し、2020年の目標である4,000万人に弾みをつけた。しかし、訪日外国人の訪れる土地は都市部と一部の有名観光地に集中し、地方への誘導施策が課題であり、政府も訪日客が不便なくまち歩きを楽しめる環境づくりを支援する考えを示している。12月定例会における一般質問の答弁によると、糸魚川市の外国人宿泊者数は平成29年度で2,662人であり、増加傾向にあるというが、インバウンドについて考えを伺う。

(1) 糸魚川市を訪れる外国人観光客の国別、団体・個人、目的などの情報把握と各対応について。

(2) 国土交通省北陸信越運輸局が推進する「グランド・サークル・プロジェクト（GCP）」を糸魚川市はインバウンド施策や受け入れ環境整備にどう取り組むか。

(3) 昨年6月に解禁された民泊の糸魚川市での申請状況及びスマホ決済に対応する加盟店の状況について。

3、ペットとの共生策について。

糸魚川市には、平成29年度時点で1,598匹の犬が登録されており、さらに多いのではないと思われる猫も含めると、相当数の方がペットと暮らしていることになる。それだけにペットにかかわる避難時の対応、不妊・去勢、多頭飼育など地域の課題もあり、市の考えを改めて伺う。

(1) 災害時におけるペットの避難を含めて、避難所の開設・運営のマニュアルは作成されたか。また、避難訓練にペットの避難も取り入れる必要があると思うがどうか。

- (2) ひとり暮らし世帯、特に高齢者のペット飼育についての情報把握をすべきと思うがどうか。
- (3) 不妊・去勢や譲渡会及び医療、葬儀等地域の課題の情報把握と啓発等をどのように行っているか。

以上、よろしく申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

田中議員のご質問にお答えいたします。

1 番目につきましては、外波地区ののり枠部分は県が管理し、上の山林を市が管理しているところでありますが、地元から支障木の対応について要望をいただいております。関係者と協議しながら対策をとっているところであります。

また、山林管理は、基本的には所有者による管理になりますが、道路パトロールや地元からの要望等により対応し、事案によっては急傾斜地崩壊対策事業など国県の補助事業を活用いたしてまいります。

2 番目の1 点につきましては、平成29年度の宿泊実績においては、国別で韓国が約60%、中国とスイスが約10%となっており、温泉や飲料、当市の原風景や伝統文化のほか、サイクリングなどアクティビティが目的であると考えております。今後当市を目的地として訪れる外国人を増加させるべく、選ばれる地域となるよう取り組みを進めてまいります。

2 番目につきましては、北陸新幹線沿線を周遊してもらう取り組みであり、多くのインバウンド客が訪れる周辺観光地としての連携を強化するとともに、市ならではの体験メニューを提案し、誘客につなげていきたいと考えております。

3 点目につきましては、市内における民泊の登録が3件となっております。スマホ決済については、現時点では宿泊、飲食業では対応している事業者はありませんが、スマホ決済だけでなくインバウンドの推進に向けた環境づくりに努めてまいりたいと考えております。

3 番目の1 点目につきましては、平成27年度に避難所運営マニュアルを作成いたしております。またペットを同行した避難訓練につきましては、県と協議を行い、検討していきたいと考えております。

2 点目につきましては、現在のところ考えておりません。

3 点目につきましては、保健所などを通じて情報把握を行っており、啓発につきましては、県による周知のほか、市ホームページなどによって行っております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしく申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

再質問をお願いいたします。

外波地区の山林管理についてなんですが、1月と2月に伐採が行われました。地元では随分喜んだ声が聞かれるんですが、行政のほうへの地元の反応はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

猪又青海事務所長。〔青海事務所長 猪又 功君登壇〕

○青海事務所長（猪又 功君）

お答えをいたします。

今回の伐採につきましては、本年1月初めに県から1月21日から31日に作業を行う旨、青海事務所のほうに報告がありました。それを受けて、そのとおりに実施をいただいたものというふうに思っております。地元の皆様からは、特に感想等私ども聞いておりません。以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

これは1月のほうは県でやったということもあったかもしれませんが、私のほうには、これによって随分明るくなったと。あるいは動物ですね、特に猿等が木を伝わって近くまで出てきたりしていたものがなくなってきたとか、あるいはよくわかるようになった。また、大きな風雨による心配も大分よくなったと。道路にも落ちたりとか、あるいは住宅にも木が落ちてくるとか、そういうのも大分改善されたように思うと、そういうような声が、喜びの音が聞かれております。

今回の伐採処理が行われたところは、私を知る限りでは国道8号の親不知ピアパーク信号の交差点、そこから外波地区へ入る県道東側の出入り口付近から西に向かって、住宅が連担している区域の背後の斜面ではないかと思っているんですけれども、以前からのり面の木の枝が道路頭上に折れて落下し、事故になるおそれがあり大変危険であると指摘され、地元からも要望が出ていたものだというふうに私は聞いております。いつごろからこのような内容が出ており、その内容等はもう少し具体的にわかればお願いしたいと思えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

猪又青海事務所長。〔青海事務所長 猪又 功君登壇〕

○青海事務所長（猪又 功君）

いつごろから要望があったかにつきましては、詳細な資料を持ち合わせておりませんが、ここ数年来、市長要望に際して同様な要望をいただいております。以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

私がこの話を最初に聞いてから2年ぐらいたちました。このことについて見たところ、かなり住宅に木々が迫っておりますし、また急傾斜地で高所作業になる、そういうことから危険なことであり、必要な装備や器具類、費用などいろいろ考えても個人や集落の範囲ではないなというふう

な印象は持っておりました。青海事務所にもいろいろ問い合わせをさせていただいたんですけども、この土地のことになりますと、冒頭市長の答弁でもありましたように、市の管理と県の管理、それからいろいろと混在しているところがあるようであります。そういったことでいろいろと時間がかかったのかなと思うんですけども、要望を受けてからこれまでこのように時間がかかった原因については、どのように考えていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

猪又青海事務所長。〔青海事務所長 猪又 功君登壇〕

○青海事務所長（猪又 功君）

お答えをいたします。

住宅裏ののり枠部分につきましては、県が設置し、県が管理をしているものであります。地元からこののり枠部分について、木が伸びているのでこれを伐採してもらいたいという要望は受けてきております。市といたしましても、県にお願いをしてきたところでありまして、県からは予算の確保に努めたいというふうな回答をいただいております。以上です。

○議長（五十嵐健一郎君）

暫時休憩いたします。

再開を13時といたします。

（午後0時01分 休憩）

（午後1時00分 開議）

○議長（五十嵐健一郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

外波地区の山林の伐採を今回したところ、その住宅の背後には、県が施工されたと思うんですけども、のり面にのり枠工の構造物があります。見たところかなり古く見えるんですけども、これはいつごろ設置された構造物なのか。この構造物の間にいろいろと腐葉土が堆積をして、そしてそこに樹木が生え、そして成長すると木の根が張っていくという循環になっていくということで、定期的な伐採等管理が必要というふうに私は思うんですが、この構造物の管理というのは、県がされていると思うんですけども、点検はされているかどうか、お願いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えをいたします。

構造物、これは新潟県が作成、築造したものでございます。大変申しわけございません、いつぐらの時代に新潟県が施工したかというところは今手元に資料がございませんで、お答えできません。過去にもこのお話があったときに、新潟県とは、例えば木が生えてきて、その根っこ等で構造物に支障が出るような事態があれば、県のほうで責任を持って対応するというようなこともいただいておりますし、私どもの道路パトロールとか、県の定期的なパトロールとかこういうお話があって、県のほうもここは注目をしていると思いますので、そういう適切な対応を市としても求めていくというふうに考えております。以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

住宅の屋根の上のほうにまで高く構造物がされています。今言ったような理由で、なかなか木が成長すると大変になってきますので、そういう管理も含めて点検をしていただく中で安全に努めていただきたいと思います。能生のほうでは、徳合や筒石、のり枠工の工事の面もありますので、本当に住民の方は心配されると思うのでよろしくお願ひしたいと思います。

外波地区から出ている要望としては、今、東側のほうを取り上げましたけれども、西側のほうにある川には、これは私有地ということではなかなか伐採ができないということなんですけれども、そこにもやはり木の枝が大変伸びています。これは本来は私有地なので所有者が管理しなければいけないんじゃないかと思うんですけれども、かなり伸びてて、東側のほうは道路管理の面からもという話がありましたけれども、これは河川管理の面からも危ないんじゃないかなと。その辺の見解はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大沢財政課長。〔財政課長 大沢喜昭君登壇〕

○財政課長（大沢喜昭君）

お答えをさせていただきます。

私有地の部分につきまして、今ののり枠の上のほうにつきましては、県のほうがのり枠を切っていただいた後、整理を少しさせていただきまして、かなり繁茂しておりましたので、どこが幹なのか、どこが枝なのかというのがなかなかわからない状態でしたので、業者さんをお願いしまして、下のほうを今きれいにしていただいております。伸びた枝がどの木の枝なのかというのが今きれいに見えるようになってまいりましたので、この後、その伸びた枝もまた伐採をする予定にしております。住民の皆さんと立ち会いをしましたときに、かなり広範囲にわたっているので計画的に少しずつ私有地のほうを伐採をしていくということで、地元の皆さんとも話をしておりますので、一番安全が第一でありますので、危険なところから先に手をつけさせていただき、少しずつ業者さんと伐採をしていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

見辺産業部長。〔産業部長 見辺 太君登壇〕

○産業部長（見辺 太君）

お答えします。

今、議員おっしゃられるのは、外波川の左岸で私有地のことだと思います。そこにつきましては、過去からかなりやっばり木が倒れてきていて、河川管理者が必要なときにやむを得ず倒れた木とか、竹とかを伐採して処理をしているというのが実情でございますが、実際には個人の持ち物ですから、まずは民地の方に処理をしていただく。それでやむを得ず河川の管理上、支障になった場合に県のほうでやっていただくといったことが基本となっております。以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

高齢化、過疎化が進んで、基本はわかりましたけれども、こういうところが外波は1つの今回例にもなるわけなんです、市内至るところにあるんじゃないかなと。またあるいはこれから出てくるんじゃないかなと。放置する時間が長くなって木が育つと枝が伸びて、先ほど課長が言われたようなことになっていきます。やはり早目早目に地元と協議をして対応をお願いしたいと思います。1番のほうはこれで終わりました、2番の訪日外国人観光客誘致、これは12月議会でもさせてもらいましたが、ちょっと時間がなかったので再度確認させてもらいながら再質問をさせていただきます。

12月議会では、観光入込客数、また観光案内所があるわけなんですけれども、そういったところの利用状況については、把握をしていないというふうに答弁をいただきましたけれども、何で把握をできないのか、また今後はぜひこういうところでの把握をすべきじゃないかと思っておりますけれども、お考えはいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

観光案内所におけますインバウンドへの対応につきましては、前回の定例会では、すみません平成29年度までのデータがなくて把握できていないというふうに申し上げたんですが、今、アルプス口にあります観光案内所につきましては、すみません、平成28年度まで把握しておらなかったんですが、平成29年度からの数字がございまして、平成29年度が103人で、今年度につきましては2月までの速報値なんですけど180人が訪問しているという状況でございます。大変失礼しました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

観光入込客数、外国人の把握がこれから必要じゃないかと思っておりますけれども、その考えはいかが

ですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

観光入込客数の把握につきましては、施設があるところでしたらそういうカウントなり聞き取りによってできるんですけども、屋外の施設でありましたり、人が常駐していないところについてはなかなか難しい面がございます。ただ、いずれにいたしましても、インバウンドの政策を進めていくためには、いろいろなデータが必要でございます。それには行政だけでなく、宿泊事業者、また飲食店、またそれを取り巻くさまざまな業種において総合的に取り組む必要があるというふうに思っておりますので、これにはまさにDMO、今観光協会がDMOの広報法人になっておりますけれども、DMOを活用して取り組むことが必要であるというふうに思っております、今なかなかそこまではいってないんですが、また関係者とお話し合いをする中で、そのような方向に向けて取り組んでまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

やはりデータの収集、情報把握は大事ですし、入込客数を把握することはまず基礎中の基礎じゃないかなと思いますのでお願いしたいと思います。

観光案内所180人になったということで、この数は糸魚川市としては、こうなるんでしょうけれども、まだまだこれじゃあ弱いなというふうに私は思います。観光案内所がわかりやすいけれども、わかるけれども、利用しないのか。あるいはもともとの基礎的な数字からこの数字は妥当な数字なのか、そういったこともやっぱり把握していかなくちゃいけないんじゃないかなと思います。

観光案内所には外国語で対応できる方というのは何人おられるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

さきの定例会でもお話がありましたように、糸魚川市観光協会の観光案内所とマリンドリーム能生の観光案内所がJNTO認定の外国人観光案内所のカテゴリー1ということで登録されております。今、糸魚川の観光案内所につきましては、常時対応できる職員1人おるわけなんですけれども、たまたま今産休中で不在になっております。ただ、スカイプを使って、TIC TOKYOと回線で結んで観光案内ができたりというような対応をとっておりますし、マリンドリーム能生の案内所につきましては、館内に英語ができる職員がおられるということで、その方を活用してといたしますか、お願いして案内をしているというふうに聞いております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

観光案内所は今、英語ができる人がいるのは当たり前のような、どこでもそうなっていますね。当たり前と言ったら申しわけないんですけどね。糸魚川でも宿泊者数を伺った中では韓国が一番断トツに多いわけなんですけれども、ということは、これから韓国語もできる人も何とかしなきゃいけないんじゃないかな。2番目はどこでしたっけ。3番目が中国とか。中国語もできる人が要るんじゃないかなと。その辺の人材育成というのをどう考えておられますか。あるいは人材の登用というのはどのように考えておられますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今宿泊者数でトップの韓国につきましては、団体で温泉宿に宿泊しているという状況でございます。ただ、添乗員の方が来られまして、それらの対応をしているという状況でございます。ただ、いずれにいたしましても、英語ですとか、その他の言語を含めて対応していくことは重要でありますので、今現在、市内にお住まいの方でそういう英会話等でガイドまではいなくても、観光にかかわりたい人からお集まりいただきまして勉強会を始めているところでございます。市内の宿泊施設等にお聞きしましても、やっぱり一番の課題は言語の問題であるというふうにお聞きしておりますので、いきなりうまく言語を活用するのは難しいですけども、今例えばスマホで通訳のソフト等もございますので、それらも並行して活用しながら対応していく必要があるというふうにお考えしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

今1人の方がいるが、今産休なので誰もいないということで、やはりこういう事態というのはいかがなものかなと。やはりこれからはそれをカバーできるような体制に持っていけないと難しいんじゃないかなと。今取り組んでおられる内容を伺っていますけれども、計画的にことし、平成30年度が終わるまでには何人ぐらいはできるとか、平成31年度、32年度にはどれだけの人間を外国語で案内ができるように、あるいは募集するとか、そういう計画というものがなきゃいけないかと思うんですが、そういうのはありますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今現在、明確な計画の数値というのは持ち合わせておりませんが、今現在取り組みを行っております外国語ができる方との懇談ですとか、勉強会を含めまして、もし活用できる人材がいればまたお願いしていくとか、今現在、IISAという組織がございますけれども、その方



たちとも連携を図る中で活用できる部分につきましては、活用させていただきたいというふうと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

今回このインバウンドの取り上げた1つの目的は糸魚川市としても計画的にこれからいろいろなものの目標値を定めて、この糸魚川においてはどのような観光客をどれだけ、何年度にはどれだけの外国の観光客の方を招き入れることができるかというものをしっかりビジョンを持ってやってもらいたい。今それはどんな関係になっているのかなというふうに思って伺っております。やはり受け入れていくには、それなりの環境整備というものが必要ですし、そのためのデータというものもまた把握していかなければならない。そういうことで今回再度伺っているというふうに思っていたと思います。市内に飲食店までいとなかなか数があるんですけども、少なくとも英語で対応できる宿泊施設というのはどれぐらいあるのか把握はされていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

明確な数字は捉えておりませんが、数件であるというふうに思っております。それも例えば時期によっては、インターンの方が来られて、一時的な対応であったり、たまたまそこに住まれた方が少し英語ができるとか、その程度であると思っておりますし、それらのそういう人材の掘り起こしも含めまして、DMO等で対応していく必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

コミュニケーション不足のようなことはわかっているわけですし、人材がなかなか間に合わないところは、先ほど課長がスマホの話もされましたけれども、今いろんな便利なグッズもあります。そういったものをどこにどのように配置したりする支援をするとか、そういうことも計画の中にあってもいいんじゃないかなと思います。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

国内の人口が減少している中において、やっぱりインバウンドを取り込んで、地域経済へ波及させるということは非常に重要なことだと思いますので、それらも含めてDMOを含めた関係者と協議をしながら計画を策定していけるように検討してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

2,662人の方が平成29年度に糸魚川に外国の方が宿泊されたと伺いました。恐らくこれは宿泊者であって、延べ人数になるともっと多くなるのかなと思うんですけども、その辺の確認と、それから糸魚川の観光資源として、スキー、スノボ、あるいは温泉、美術館、サイクリング、あるいは新鮮な魚介類、カニ、いろいろあるわけなんですけれども、一番求めて来られるのはどういう観光資源になっているのか、その辺の把握はされていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

まず宿泊客数の2,662人というのは、2,662人泊ということで、1人の人が2泊すれば2人に数えるという、2,662人泊ということでございます。

それと目的につきましては、いろんな職業の方や職種の方、またいろんな商売をやられる方も含めていろんな方がいらっしゃいますけれども、通過で立ち寄る方もいらっしゃれば、例えば白馬に来られたついでに立ち寄る方もいらっしゃったり、例えばまた日本の田舎というものを求めて泊まれる方もいらっしゃるというふうに思っております。あと、冒頭申し上げました温泉ですとか、サイクリングですとか、そういうアクティビティを求めていらっしゃる方も多いというふうに聞いていますけれども、これにつきましても、まだ一部の宿泊事業者のものしかデータがございませんので、それを含めて市内の関係業者一丸となって対応していく必要があるというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

国別を伺ってなんですけれども、一般的に韓国、台湾、中国が日本では大体トップスリーぐらいに多いですね。その順番が入れかわったりするぐらいなんですけれども、隣の妙高、あるいは白馬はオーストラリア、もうターゲットが決まっているからそのように。それでターゲットを絞って戦略を練ってやっているわけなんですけれども、まずは糸魚川は韓国が6割と突出しているのは、エージェントの関係もあるのかもしれませんが、理由は何でしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

韓国の方の宿泊が突出しているのは、立山黒部アルペンルートへ行く際のここで1泊していくということだというふうに聞いております。ただ、この方々も温泉というものを求めていらっしゃるというふうにお聞きしておりますので、糸魚川の温泉宿で宿泊いただいているものと思っております。

す。

また今立ち寄り型なんですけど、これをまた市内の他の施設へ波及させるべく取り組みを進める必要があるというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

もう1点わからないのが、香港が平成29年度の場合ですけれども6位、74人、比率にして2.8%ですね。ジオパークを推進して10年以上たっている中で、香港のつながりはもっと強いんじゃないかなと思っていたらこの数字なんですけど、その辺の見解はいかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

香港の方につきましては、姉妹ジオパークを提携しているという関係上、小学生ですとか、中学生の交流事業というのを行ってございまして、その数字が主なものであるというふうに思っておりますが、まだ一般の方までには波及していないような気がしております。ただ新年度からCIR、国際交流員の方、この方をお招きしてそれらの拡大についても取り組んでいきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

やはり世界の冠がついて、いろんなところにメリット、午前中もいろんな話がありましたけれども、あろうかと思いますが、こういった面においても活用すべきじゃないかと。あるいは結びつけていくべきじゃないかと思っております。もうかなりの年数がたつ中で、それはもうあらわれていかなきゃいけないんじゃないかと思っております。そういったことでこの辺に期待したいと思っております。

先ほど課長がJNTOの話がされました。1年以上たったかと思うんですけども、ワークショップがありました。記憶にあるかどうか。その資料を見たところ、アジアに対しては団体客向けにカニとかヒスイとか、それから欧米に対しては、個人旅行者向けに歴史、文化、田舎体験、地酒、そういったものをPRしていくというふうなワークショップの話がありました。もう1年以上たったんですけども、その辺の進捗状況というのがわかったらお願いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

インバウンドの対応につきましては、市単独だけではなくて、いろんな団体、広域的な団体を通じた取り組みを行っております。その中では、アジア、東アジアからエージェントを招いて、モニ

ターツアーをやったり、あと欧米からの旅行者も来ていただいたりということで、多くの観光客から来ていただけるような取り組みを行っており、徐々にではありますが、その効果もあらわれてきているのではないかとこのように思っております、今年度のインバウンドの宿泊数につきましては、まだ数字は出ていないんですけれども、昨年よりは伸びていくのではないかとこのように推計をしているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

先日も新聞報道で全国8,000万人以上の宿泊者、非常に伸び率が高い分野であります。平成29年度においては138%というので随分伸びたようには言われていますけれども、糸魚川市内ですね。全国の平均からいくと普通じゃないかと、伸び率そのものが。むしろ分母が少ない分、もっと伸びなきゃいけないんじゃないかなと思うわけです。やはり取り組めば取り組むだけの成果があらわれるんじゃないかなと思います。先ほどのJNTOの指摘においても、糸魚川市が抱えるインバウンドの課題というものを、北陸新幹線完成によって首都圏からの利便性が向上した一方で二次交通が弱いとか、観光地としての知名度が低いとか、PRが不足しているとか、地元の関係プレーヤーが十分でない。あるいは中国語や韓国語などの外国語ができる人材が少ない。もうこの時点でも提案が指摘されております。やはり指摘された面においてしっかり早目に取り組んでいくように指導、あるいは支援してもらいたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今全国的にインバウンドが伸びておりますけれども、急激に上がっても、またその反動で受け入れ体制がうまくいかないと、また急激に落ちるとということも懸念されますので、先ほど申しました受け入れ体制の整備とあわせて、DMOの中で協議をしながら着実に受け入れ客数を伸ばしていくことが重要であるというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

それで、先ほど課長のほうの話も出ましたけれども、ビジット・ジャパンの観光案内所の指定、マリンドリームとジオパルのところにあるというふうになってまして、本定例会の初日に市長の行政報告で、道の駅マリンドリーム能生が重点「道の駅」に選定されたということで、大変喜ばしいものだと思うんですけれども、この喜ばしいという中には、この分野においては観光庁の訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業、こういう制度が入っております。マリンドリーム能生のカテゴリーが、先ほど1という話をされましたけれども、上越地域では妙高に1カ所、カテゴリー2があります。今回、こういったことを機に整備を進めてカテゴリー2に上げていくとか、そういう考

えもあっていいんじゃないかなと思うんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

マリンドリーム能生の重点「道の駅」に係ります事業計画書を見てみますと、サイクリングを中心とした交流人口の拡大ですとか、あと風景街道等を含めたものというふうに書いてありまして、いずれにしてもマリンドリーム能生は、この地域の観光の拠点の1つでもありますので、今カテゴリー1でありますけども、カテゴリー2へ行くことも視野に入っておりますが、カテゴリー2につきましては、少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐して広域の案内を提供するということが必要であります。この辺につきましても、今ほどの各種制度の活用も含めて、また事業者と相談をしながら進めていく必要があるというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

よろしくお願いたします。

訪日外国人観光の魅力の1つは、やはり滞在期間が長い。それから消費金額が大きいといった経済面の貢献も非常に見込まれるところもあります。それで各地において力を入れるのは、もう国内の日本人の国内旅行のほうは、恐らく頭打ちになっていくだろう。あるいは減少する。その分をこのインバウンドでカバーしよう。そういうふう動く中で、みんな過当競争が始まっていると。だから、どちらが先かというようなところもあるかもしれませんが、できる整備を計画的にやっていくということが大事じゃないかなと。

1つの例として、最近の報道で、佐渡では8月のアース・セレブレーションを行うに当たって、海外からの集客を見込むということで専門チームを結成したということが、つい先日の報道にもありました。事務局に外国人スタッフを入れて窓口の多言語化を図るというふうに書いてあります。

こういうことで、やはり観光MBAというものに最近、政府も力を入れておりまして、その資格やなんかのほうも出てくるわけなんですけれども、そういう人材の育成を図っていかなきゃいけないんじゃないか。そういう時期に来ていると思いますけれども、人材の育成、再度伺いますけれども、人材の登用、そういったことの計画という取り組みについて、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今、議員が話されたように、MBAの観光版という取り組みもあるということはお聞きしております。ただ、なかなか地方の都市においてそこまでいくのは非常に困難なものでありますが、いずれにしても人材の育成、活用というのがないと、なかなかそういう稼げる観光に結びつけていくのは非常に困難だと思いますので、それらも含めまして今後の検討課題であるというふうに考えてお

ります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

非常に難しいかもしれませんが、そのようにまた頑張ってくださいと思いますが、次に2番のGCPについてなんですが、最近、糸魚川駅前後のトンネルもWi-Fi等の設置が進んで携帯等も使えるようになったということで、外国人の旅行中に困ったことや不満の上位には、無料の公衆無線LANがないということが必ず上がってきます。糸魚川市内においても、かなりこの普及に努めているところなんですけども、今この無線LANの整備状況というものについては、いかがなものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

無料の無線LANの整備状況につきましては、新幹線の開業時に補助金等を支出しまして市内の事業者の皆さんから整備していただいた経緯がございます。ただ、その対応状況につきましては、具体的な数字はつかんでおりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

数字はともかくとして、ストレスなくこういうものが使えるような、市内は環境になっているかどうか、そういうチェックは必要なんじゃないかなというわけでありまして。そういったことの把握ができていくかどうかということなんです。ですので、その辺も考えていただきたいと思います。

先ほど外国語の話がありましたけれども、最近、駅を見ていますと、えちごトキめき鉄道の職員も、あるいは新幹線の駅の職員も、かなり結構、英語で外国の方に対応しているの見受けられます。そういうことで、かなり交通の乗り継ぎにおいても重要な役割を果たしてくれているというふうに理解しているんですけども、新幹線が開業して4年がたちました。この利用状況というのは一体、今回GCPもあるわけなんですけれども、いかがなふうになっているものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

糸魚川市のほうでこれまで平成27年から今年度も含めて継続的に独自の調査を行っております。開業から4年経過して、利用人数、乗降人数は横ばいなのですが、大体、平常時期で1日平均で900人程度、混雑時期と言われるゴールデンウィークですとかお盆、秋の行楽シーズン、あと年

末年始にかけての繁忙期に関しては、大体1,400名から2,200名、ちょっと幅がございます。お盆の時期が一番多いということで、時間帯別の調査を糸魚川市のほうでしておりますが、先ほどから話に上がっております海外から来られた方、国内の方という視点というところは持ち合わせておりませんので、今後、観光のほうとも連携していきたいと思います。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

このGCP、国も力を入れ出して、国交省のほうも力を入れてこれから展開していくと。もう3年たっているわけなんですけれども、ますます重要になっていくんじゃないかなと。これには広域連携が必要になっていくんですけれども、そういうことで北陸新幹線のルートをいかに浸透を図っていくかということが大事かと思います。そういうことで、その中で糸魚川駅の役割というのは大事じゃないかなと思います。

（3）に入りますけれども、これはどちらかという今後のインバウンドの推進で、個人の観光客の受け入れに必要な環境整備、これにどう取り組むかというふうに伺いたいわけでありましてけれども、まず、民泊の申請が先ほど3件というふうにありました。たくさん受けた中で許可がおりたのが3件だったのでしょうか。それとも、もともとこれぐらいの数字であったのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

みずから民泊をやる方につきましては、都道府県知事への届け出というふうに聞いておりますので、その届け出が3件であったということのみ承知しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

糸魚川市の場合によっては、既存の宿泊施設も、また稼働率の問題もありますので、無理に進まなくても十分、大丈夫なのかなというふうには思いますけれども、一方で外国人の予約の仕方というものが、みんなOTAになっておりますね。この登録をやっているかどうか、オンライントラベルエージェントの登録をしているかどうかということになってくるかと思えます。その辺の状況把握というものはしなければいけないのではないかなと。

個人で来日する場合、外国人の観光客というのは来日してから宿泊予約先を決めることも結構あるわけなんですけれども、そのときに一番使われるのがスマホを利用してインターネットで検索していくというパターンをよく聞きます。インターネットの検索では、さっき言ったOTAか、あるいは施設のホームページ、それを使って予約していくというわけなんですけれども、外国人の場合は、このサイトは日本のサイトを使わないわけですわね、じゃらんとか楽天とか。どちらかという

と海外のエクスペディアとかA i r b n bとか、そういったものを使うわけで、そういったものの登録をこれからは考えていかなきゃいけないんじゃないかなと。その辺の状況というものを把握しているかどうか、いかがなものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

大嶋商工観光課長〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今、民泊の3件のうち1件につきましては、かなり稼働しておる状況でございまして、この店については今お話のありましたA i r b n bとB o o k i n g . c o mに登録をして受け入れを行っているということでございます。

OTAにつきましては、海外の個人の旅行者が手軽に申し込みできるということがある反面、なかなか直前のキャンセルが多かったり、いろんなリスクがあるということも聞いておりますので、それらも含めて有効にOTAを活用していく必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

インバウンドについて、いろいろと伺いましたけれども、まだまだインバウンドプロモーションというか、その方向性をまずしっかりとやっていただけてほしいなと思います。観光資源もいろいろあるわけですが、そういったものをいかに活用するか。

それで、建設産業常任委員会で市外調査が行われまして、会津若松市を視察してきましたけれども、インバウンドの取り組みで訪れる外国人を国別で分析し、特に多く訪れる台湾やタイをインバウンドの重要なターゲット国として、観光PRと受け入れ環境づくりに取り組んでいて、観光振興計画での数値目標の検証がしっかりされている。また、観光入込客の動向もしっかりと分析され、実効性のある取り組みがされていると委員長報告にありました。

インバウンドの取り組みでは、データの収集と検証や分析が大事な要素だというふうに思いますので、しっかりまた今後も対応をお願いしたいと思います。

以上でインバウンドを終わって、3番のペットとの共生についてですけれども、先ほどの答弁の中で、マニュアルが平成27年に作成されていると。私が昨年の6月定例会で取り上げたときには、今つくっている最中だというふうにいただいておりますが、整合性についてはいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

○環境生活課長（五十嵐久英君）

避難所の運営マニュアル本体自体は平成27年につくっておきまして、それ以降、順次、各避難所の配置等について現在つくっておきまして、そのような形で完成というか、その時点ではそのようなお答えをさせていただいたというものでございます。



〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

じゃあ完成はもう完全にできて、では、これはどういうふうにご利用されていますか。具体的な取り組みをお願いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

○環境生活課長（五十嵐久英君）

避難所の運営につきましては、総合版防災訓練等の避難所の設営に当たって、どのようなそれぞれの配置をするかというようなことで、今、実際に訓練でやってみながら検証しているということでございます。また、実際の災害においてということで、当然まだつくっている途中でございますので、実際の災害においてやってみて、それで不都合があればまた改定していくというような状況で今、取り組んでいるというものでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

先ほどの課長の答弁でも言われたんですけども、その後に水害、あるいは火事があったわけですね。それにこのマニュアルがどう生かされたかなというのがあったかと思うんですけども、それはいかがだったでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

○環境生活課長（五十嵐久英君）

ペットの避難の部分につきましては、大火のときも能生の水害のときも、たしか4頭とか5頭ということで、それぞれペットを連れた避難者の方にお聞きをしながら、そのまま避難所におられる方がほとんどなかったという部分もあって、このマニュアルというよりも個々にそれぞれの避難者の方の御事情をお聞きしながら対応させていただいたという状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

避難訓練でペットの避難も検討されるというふうに伺いました。毎年6月に総合避難の訓練があったりするわけですね。こういった要望の話やら、あるいはお誘いの話やら、お誘いと言っているのかどうか、話があるかと思うんですけども、その辺の話をもうちょっと具体的なことがあったらお願いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

○環境生活課長（五十嵐久英君）

平成29年度に上越市のほうで県のほうと共同でペットの同行避難を含めた訓練を実施したということでございます。それで県のほうとしては、今度、糸魚川市のほうでもそのような訓練ができないかということで今、県のほうからお話があって、今後どういうふうな形でやるか詰めていくというような形になろうかというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

どこかモデル的にやられてもいいのかなとも思いますし、その辺の検討は保健所とされているということなんですけれども、ぜひやってみると、またマニュアル、先ほどの話もそうなんです、いろんな問題、課題が出てくるかもしれません。やらなければなかなか進まない話であります。ぜひ、これは前向きにやっていただきたいと思います。実施してもらいたいと思います。

ひとり暮らし高齢者のペット飼育の情報把握は今されていない。あるいはされる予定もないような答弁だったんですが、今、高齢化社会において住みなれた地域で自分らしい暮らしを続けるということで、地域包括ケアが進められておる中で、ペットという存在が非常に大きいんじゃないかと思います。高齢になってからペットを飼いたいという方もおられますし、またその効用というものもいろいろ見直されているところがあります。

そういう面においても、やはり高齢者の方のペットの情報把握というものは必要なんじゃないかなと思いますが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

○環境生活課長（五十嵐久英君）

ペットと一緒に暮らしていくということにおいては、やはり癒やしというか、そういう部分もたくさんあるということで、今ペットを飼われる方もふえているという状況でございます。犬については狂犬病予防の関係で登録制度ということがございますので、当然ひとり暮らしかどうかというのは突き合わせれば把握できる状況になっておりますけれども、猫等については今現在、多分、犬等より全国的にはいっぱい飼われているという状況でございます。その中で登録制度というものが無い中では、なかなか把握していくのは難しい状況なのかなというふうには思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

環境生活課の感覚だとそうなるかもしれませんが、高齢者がふえてきて、介護のほうの関

係の中でこういう方がふえてくるとなってくると、やはり情報の把握だとか、あるいは地域においてどういうふうに連絡と。一方では社会的な問題が顕在化しているところも結構あります。その辺は重く受けとめなきゃいけないんじゃないかなと思います。いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

担当ではないというか担当を超える部分もあろうかと思っておりますので、私のほうからお答えさせていただきますが、やはり高齢化社会になっております。そしてまた、高齢者の皆様方が多くなっていく中において、いろいろやはり高齢者の日常生活の中で対応していく施策や、また制度などもあるわけでありまして、そういう中でペットの果たす役割というのも、またあろうかと思うわけでありまして。

そのようなことを考えたときに、あれはだめ、これはいいということではないだろうと思っております。ありとあらゆるものを使いながら、やはり住まわれている方々に対応していきたいと思っておりますので、調査も今いろんな、全然回らないところはないわけでございますので、これから見回りやいろいろ介護の中で、その辺の調査も合わせながら、しながらそのペットの果たす役割というのは、やはりもう少し考えながら検討し、調査していきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

ありがとうございます。やはり高齢者、あるいは飼われている方にとって家族同様になっていたりとか非常に重い面がありますので、その辺、また生きがいにもなっていくという面でもいいんじゃないかと思っておりますので、あらゆる面で総合的に判断する中で捉えていてもらいたいと思いません。

不妊去勢の大きな課題なんですけれども、これには県の補助が雌で1万円、雄で5,000円、飼い主がいなくても、こういうものもあるわけなんですけども、案外知らない方が多い。この辺の啓発もやっておられるというように前にも聞いたんですけれども、なかなかご存じない。いかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

○環境生活課長（五十嵐久英君）

今の県の制度においては、やはり飼い主のいない猫ということで、どうしても自分が飼い主のペットについてはいろいろ関心があるんですけども、いわゆる野良猫の去勢とか不妊措置という部分でございますので、なかなか関心がある人が少ないという部分がございます。

どちらにしても、県のほうからパンフレットをもらって配布したり、市のホームページでも周知

はしているというような状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

それから、余り考えたくない課題ですけれども、ペットが亡くなったとき、家族同様に暮らしたペットをどのように見送るか。先ほども高齢化の話がありましたけれども、現実問題として非常に多くの市民が悩んでいる話も聞きます。高齢化の中で、遠くまでこのために行かなければならない。物すごく大変で、またお金がかかると。近くにはなかなかそういうものが見当たらないと。不安や負担を少なくするという声を聞くんですけれども、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

五十嵐環境生活課長。〔環境生活課長 五十嵐久英君登壇〕

○環境生活課長（五十嵐久英君）

市内にはペットを火葬できる施設が1施設あるということでございます。上越に行くとな数箇所あるということで、なかなかそちらにも行けないという話も聞きます。ただ、近ごろ移動式の火葬炉を持って糸魚川のほうでもやってくれる事業者もあるということで、そういうところを使っているというような話も最近ではよく聞くようになったということでございます。

どちらにいたしましても、ペットの飼い主の方がペットを見送るためには、どのような形がいいのかというのは、それぞれかというふうに思っておりますので、今後、民間の事業者が火葬場の事業をやっておられますので、そのような状況を、また情報収集しながら市民の皆様提供してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（五十嵐健一郎君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

平成29年度で犬の死亡届については113頭というふうに把握されています。猫はもっと多いんじゃないかなと。犬と猫だけの話ですけれども今はね。ペットを飼っている方は非常に多いわけで、今、課長が言われましたけれども、これで本当に悩んでいる方は多いので、ぜひ前向きに、また情報を捉えながら、お話があったら真摯に向き合っていただきたいということをお願いしたいと思います。

以上で私の一般質問を終わります。

○議長（五十嵐健一郎君）

以上で、田中議員の質問が終わりました。

関連質問なしと認めます。

暫時休憩いたします。再開を2時5分といたします。

〈午後1時55分 休憩〉